

未来へつなぐ「確かな一歩」推進事業【児童生徒支援課】

事業の概要

県内の不登校児童生徒が文化、スポーツ等の体験を通して人や社会とつながるよさを実感し、学校に再び登校するという結果のみを目標にするのではなく、将来の社会的自立に向かう取組を実施

現状・課題

・令和3年度、県内の不登校児童生徒数(小・中・高等学校)は2,784人で過去最高となっている。
・長期間におよぶ不登校の児童生徒も存在し、将来の社会的自立に向けた効果的な支援が課題である。

不登校児童生徒

参加

事業内容

市町教育委員会
(教育支援センター)

- ・支援計画の立案、実施
- ・参加の働きかけ

事業の実施に必要な経費を支援
・補助率：1/2
・補助額：実施する1市町あたり300～1,000千円程度を想定

長崎県教育委員会

- ・協力依頼
- ・支援メニューの共同作成
- ・SC・SSWの派遣等

連携 タイアップ(連携体制の構築)

基幹施設・協力施設

不登校児童生徒に支援メニューを提供

文化施設等

・長崎県美術館、歴史文化博物館
・県立・市立図書館
・市町に所在する文化施設など

優れた芸術作品や歴史的な展示品に触れ、感性を呼び起こす。また、ワークショップを通し知的好奇心を高める

基幹施設：県及び県と関わりが深い施設・団体等

青少年教育施設等

・県立世知原少年自然の家
・国立諫早青少年自然の家
・市町で実施する自然体験教室 など

自然体験活動を通し、個々の興味関心を引き出すとともに「できる」体験を積み重ねていく

協力施設：市町立の施設など

地元プロスポーツ等

・V・ファーレン長崎
・長崎ヴェルカ
・市町で実施するスポーツ教室 など

憧れのプロ選手との交流等を通して、夢を抱き、よりよく生きていくエネルギー高める

「これならできるかも・やってみたい」主体的なエネルギーを高める
= 「確かな一歩」のための、自己肯定感・自己有用感の醸成

事業目的

不登校児童生徒が、人や社会とつながる喜びを実感し、将来の社会的自立に向けた主体的な生き方の選択ができるきっかけを増やす。